

平成 30 年 7 月豪雨災害にかかる兵庫県支部の活動について

日本赤十字社兵庫県支部

1. 災害の状況について

6月28日以降の台風第7号や梅雨前線の影響により、西日本を中心に全国的に広い範囲で豪雨が発生しました。7月6日から7月8日の間に特別警報の運用開始以来で最多となる計11府県で大雨特別警報が発表され、全国で11府県61市37町4村に災害救助法が適用されました。全国で死者225名、行方不明者11名となり、7月29日11:00現在（消防庁発表）で653か所の避難所で4,942名（ピーク時は27,000人以上が避難）が避難生活を送っています。また32,909棟の住家が全半壊や床下・床上浸水等の被害を受けています。

2. 日赤災害医療コーディネートチームの派遣について

兵庫県支部では、隣接県である岡山県に日赤災害医療コーディネートチーム（CoT）を派遣し、行政及び医療保健関係機関との連携を図り、ニーズの調査や各地から集まってくる医療チームの活動エリアの割り振り等の調整本部業務を行いました。

派遣期間	救護班	主な活動場所
7/8～7/11	日赤災害医療コーディネートチーム (神戸赤十字病院2名、支部事務局1名)	高梁市役所、倉敷市保健所（現地本部）、 日赤岡山県支部
7/16～7/19	日赤災害医療コーディネートチーム (神戸赤十字病院3名)	日赤岡山県支部、岡山県庁、 倉敷市保健所



○医療チームの派遣先を調整する CoT



○朝のミーティングで派遣先を救護班に伝達

3. 救護班の派遣について

医療救護班を岡山県南西部の被害が大きかった地域（高梁市・倉敷市）に派遣し、活動拠点本部の調整の下、避難所の巡回診療等の活動を行っています。

派遣期間	救護班	主な活動場所
7/8～7/10	兵庫県支部救護班第1班 (姫路赤十字病院8名)	高梁市内避難所、倉敷市内避難所
7/9～7/10	兵庫県支部救護班第2班 (神戸赤十字病院5名、支部事務局1名)	倉敷市内（二万小避難所、昭和公民館）
7/18～7/21	兵庫県支部救護班第3班 (姫路赤十字病院9名、支部事務局1名)	倉敷市内



○避難所で手当をする救護班



○岡山県職員と避難所内を巡回する救護班（二万小体育館）



○姫路赤十字病院救護班出発式（第1班）



○神戸赤十字病院救護班出発式（第2班）

4. こころのケアの活動について

こころのケアにかかる避難所等のニーズ把握や情報収集活動のためにこころのケア調整班を派遣するとともに、その後もアドバイザーとして神戸赤十字病院から心療内科部長を派遣するなどして岡山県支部、広島県支部が行うこころのケア活動を支援しています。

派遣期間	救護班	主な活動場所
7/14～7/16	こころのケア調整班 (神戸赤十字病院医師 1名、支部事務局職員 1名)	倉敷市保健所 (現地本部)
7/25	こころのケアアドバイザー (神戸赤十字病院医師 1名)	日赤岡山県支部
8/2～8/7 【派遣中】	こころのケア調整係 (神戸赤十字病院臨床心理士 1名)	日赤広島県支部



○倉敷市保健所内の保健師ミーティングに参加する医師



○広島県支部で活動する臨床心理士

5. 赤十字防災ボランティアの活動について

ひょうごボランティアプラザによるボランティアバスツアーに参加し、赤十字防災ボランティア4名が岡山県倉敷市真備町での被災家屋の家財の搬出等を行いました。

日時	参加人数	場所	活動内容
7/27 6:30～19:30	4名	岡山県 倉敷市真備町	・家具や植木鉢等を軽トラックに積み込む作業と空き地での積み下ろし作業 ・2階まで床上浸水した家屋の1階部分の土壁の運び出し作業

※兵庫県支部事務局から奉仕課長が同行しました。

